



太平洋諸島の人々の声

- 日付: 2020年9月25日(金)
- 時間: 日本時間 7AM JST (イベント後には、サポートグループもあります。参加は任意です。)
- 登録: zoom フォーラムへは、[こちらから](#)
- 言語: 英語をタガログ語、ビサヤ語、日本語に通訳します。

オンラインフォーラム

**CLIMATE
WEEK
NYC**

先住民族は何千年の間太平洋諸島を占有しており、すべての生物と共に生きるための知識、尊敬、配慮を持って、環境に対し持続可能で互換性のある生活を送ってきました。気候危機は、人々の家、生き方、存在そのものを脅かしています。

太平洋諸島の人々は、自分の経験に基づき次のようなことについて話す予定です。

- 1) 気候変動が、彼女/彼らの国やコミュニティにどんな影響を及ぼしているか
- 2) 気候の危機状況を終わらせるため、どのように組織して活動をしているか(発言枠が限られているため、発言する人は事前に登録してください。)

第一線の人々の話を聞いて学ぶために是非参加してください。このフォーラムでは、内容をより完全に理解し、それが自分自身とも関係していると認識するために、参加者がペアになりお互いの話を聴き合う時間を設けます。お互いの経験を共有することは、私たちの活動を強化する強力な方法です。



Sustaining All Life



SustainingAllLife.org



UnitedToEndRacism.org



fb.com/SustainingAllLife

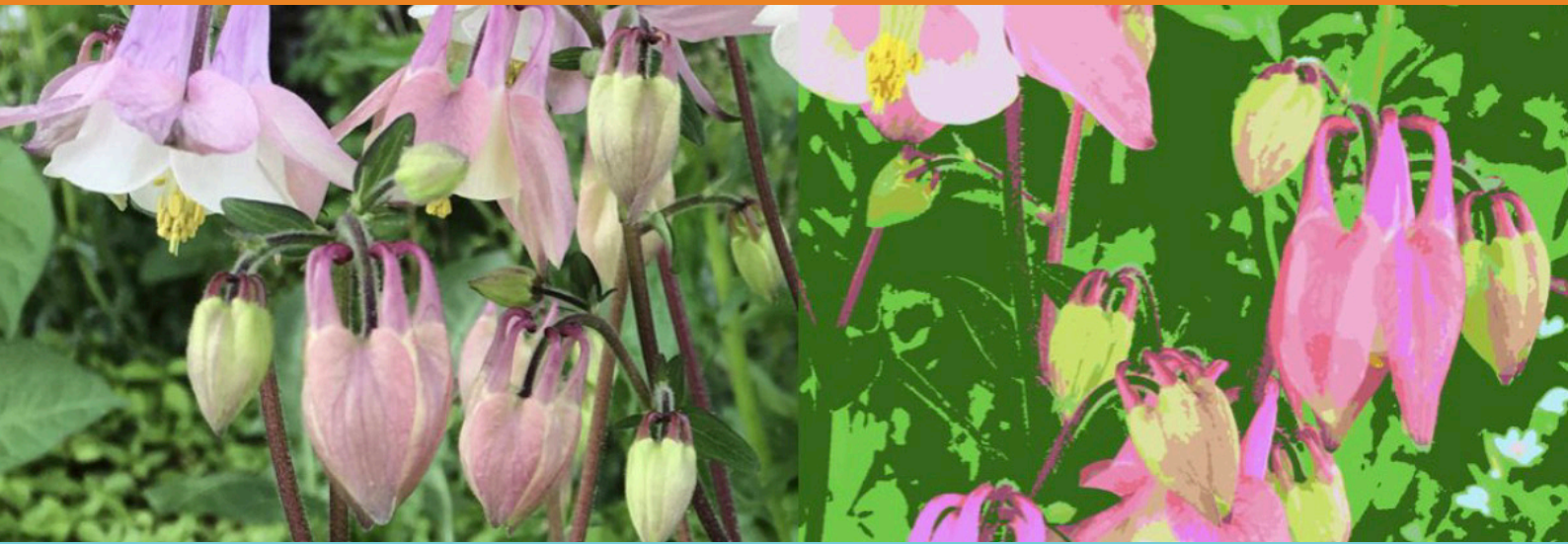


@SustainingAllLife

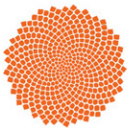


@sustaining_all_life





SALとUERの活動について



Sustaining All Life



人為的な気候変動の影響を制限し、環境を回復することは可能です。これを実現するには、いくつかの大きな変化が必要です。環境危機は人種差別、先住民族の大量虐殺、階級差別、性差別、そしてその他の抑圧を終わらせない限り、解決できないと Sustaining All Life (SAL) と United to End Racism (UER) は、考えています。環境破壊と気候変動の影響は、これらの抑圧の対象となるグループ、およびその他社会の弱者である集団（高齢者、障害者、非常に若い人々の集団を含む）に最も大きく影響します。

SALとUERは、気候危機を解決する強力なムーブメントを構築するために、次の障壁を克服する必要があると考えています。(1) 抑圧によって引き起こされる国家間および人々のグループ間の長年の分裂（特に人種差別、先住民族の大量虐殺、階級差別）(2) 落胆と無力感の感情が広く人々の中にあること(3) 拡大する地球の気候への損傷に関して対応が遅すぎることに(4) 環境危機と経済システムの欠点のつながりに関し、効果的に伝達できていないこと。

私たちの経験から、人々が抑圧によって引き起こされた精神的および感情的な損傷を癒すことで、これらの障壁が最も迅速に克服されることがわかりました。SALとUERのイベントでは、感情的な解放を促進しながら、人々が交代でお互いに耳を傾ける機会を提供します。持続可能な世界を構築する上で、考え、発言し、組織し、団結し、他の人を導くことを、私たちはもっと効果的にできるようになります。

SALとUERは、現在95か国に存在する再評価カウンセリングのプロジェクトの一部です。

詳細は：
www.sustainingalllife.org
www.unitedtoendracism.org

Sustaining All Life / United to End Racism
719 Second Ave. North, Seattle, WA 98109, USA
email: sal@rc.org • tel: +1-206-284-0311